

業務概要

目的

グローバル化や少子高齢化の進展、都市間競争の激化など、都市を取り巻く状況が大きく変化中、大阪の成長を牽引する都心部の活性化および高付加価値化に向けた都心再構築を面的な広がりを持って進めていく必要がある。

よって、本業務では大阪市における都心再構築にあたって、今後の都市機能のあり方を検討するための基礎資料として、他都市の事例収集、都心部の現況分析・課題整理、及び、再構築イメージを検討することを目的としている。

概要

・都心部の高付加価値化を図っている他都市事例の収集

大阪都心部の高付加価値化を考える上で参考となるような、近年の都心再構築の事例について、背景・概要、都市機能の内容・配置・誘導方策などを既存の文献資料等を通じて収集・整理を行った。

・大阪都心部における現況分析・課題整理

近年の社会経済情勢の影響を受け、都心部におけるオフィス需要の低迷等により、居住系の土地利用へ転換が進んでいる現況について、居住、商業、業務、文化などの都市機能の観点から分析を行い、課題整理を行った。

・大阪都心部の再構築イメージの検討(参考として提案)

上記、他都市事例や、大阪都心部の現況・課題を踏まえた、「大阪都心部の高付加価値化に向けた再構築イメージ」を今後の大阪都心部を考える上での参考として提案した。

大阪都心部の高付加価値化に向けた再構築イメージ(参考案)

都心部再構築イメージ図(参考案)

これまで：御堂筋に依存し広がりは限定的

- ① **キタ・ミナミの業務・商業集積 → 広がりは限定的**
 - ・西日本随一の商業集積や、日本有数の地下街が形成される
 - ・駅周辺整備により業務集積も進む(大阪駅前ビル竣工等)
 - ↑一方
 - ・貨物ヤード等の低未利用地が多く、広がりは限定的であった
- ② **都心部(東西方向)が収縮 → 御堂筋沿道への集中**
 - ・御堂筋沿道にオフィス集積(西日本随一のビジネスゾーン形成)
 - ・風格ある都市景観が形成(イチョウ並木, 31m規制など)
 - ・クルマ重視の道路空間形成(主要南北幹線の一方通行化)
 - ↑一方
 - ・界隈境界や、四つ橋～なにわ筋界隈
 - ・国際的大都市と比較して十分な高度利用化が困難

1st Step：キタ・ミナミ・御堂筋境界の高付加価値化

- ① **都心核：国際ビジネス・集客ゾーンの形成**
 - ◆キタ：国際ビジネスを意識した開発(グランフロント等)
 - ◆ミナミ：国際集客を意識した開発(あべのハルカス等)
 - ↑一方
 - ・水・みどり等の環境面や回遊性等での更なる高付加価値化が課題
- ② **都心軸：人重視の国際的シンボリストリートへの転換**
 - ◆御堂筋：足元へのにぎわい機能誘導
 - ・高度利用化誘導(一部にSA等の賃貸住宅容認)
 - ・側道の人重視の空間化に向けた社会実験
 - ・公開空地のにぎわい空間としての有効活用
 - ↑一方
 - ・御堂筋に依存した、線状の(≠幅のない)都心軸となっている(各筋の特徴を活かした活性化(≠東西の幅の再生)が課題)

2nd Step：更なる高付加価値化+線から面への展開

- ① **都心核：更なる高付加価値化と広がりのある都心核形成**
 - ◆キタ：うめきた2期における圧倒的なみどりなど、国際ビジネスゾーンとしての更なる高付加価値化
 - ◆ミナミ：なんば～天王寺～あべの間の回遊性強化など、国際集客ゾーンとしての更なる高付加価値化
- ② **都心軸：多様な魅力をもった“面的な”都心軸形成**
 - ◆御堂筋：道路空間(歩道・側道)と沿道オープンスペースのにぎわい空間としての活用
 - ◆堺筋：チャレンジゾーンとしての再生
 - ◆船場界隈：既存ストックの活用+国内外の起業家やクリエイター等のチャレンジングな人の受入れ
 - ◆なにわ筋：グリーン&カルチャーゾーンとしての活性化
 - ◆中2船場：みどりの拡充、大学誘致等の文教機能の拡充

